

2024年1月24日

日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社

代表取締役社長 塩谷 健

## 自動運転用特殊塗料「ターゲットラインペイント」を 群馬県前橋市での実証実験に提供

日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：塩谷健 以下、当社）は、この度、群馬県前橋市で行われる自動運転の実証実験に、当社開発の自動運転用特殊塗料「ターゲットラインペイント」を提供します。本実証実験では、2024年2月5日（月）～2024年2月29日（木）の期間、自動運転バスが、「上毛電鉄中央前橋駅～JR前橋駅」間の約1キロのコースを走行します。



バスなどの運転手不足が深刻化する中、国土交通省は、速度やルートなど特定の条件の下でドライバーが不要となる「レベル4」の自動運転を全国的に進めるため、各自治体に補助金を支給する「自動運転実証調査事業」を行っています。本実証実験は、「自動運転実証調査事業」の採択を受けて前橋市が実施するものです。前橋市は2025年を目途に「レベル4」の実装を目指し、2018年から実証実験に取り組んでおり、今回は第6回目の実証実験です。

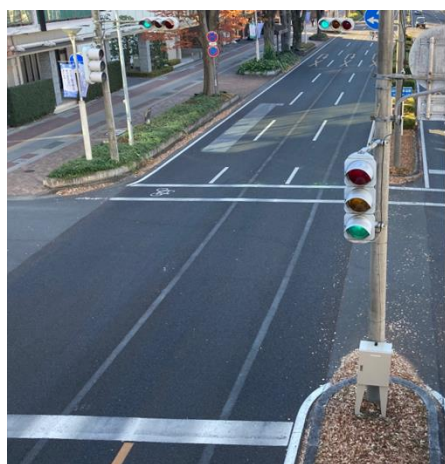
本実証実験では、当社が開発した自動運転用の特殊塗料「ターゲットラインペイント」を新たに導入しました。ターゲットラインペイントは、車両に搭載したセンサーが、路面に塗装されたペイントを認識・追従することで、安定した自動走行を行います。これにより、自己位置測位系の完全二重系区間を拡大することで自動運転システムの冗長性を確保し、より安定した走行を目指します。

日本ペイントグループは、今後も様々な場所での実証実験を通じて自動運転の普及を目指し、塗料分野で培った技術を生かしながら社会課題の解決に貢献して参ります。

以上

## ■ターゲットラインペイント概要

「ターゲットラインペイント」は、日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社が開発した自動運転用センサーが認識できる特殊塗料で、走行経路に塗装するだけで自動運転用のインフラ整備が可能となります。そのため、導入コストやメンテナンスコストの削減が見込めるほか、山林やビル等により衛星測位システムが入りにくい場所でも、塗装されたペイントを認識させて走行を支援することが可能です。また、目視で路面色と同化しやすい色の設計が可能なため、道路の路面表示と誤認しづらく、安全面や景観にも配慮しています。



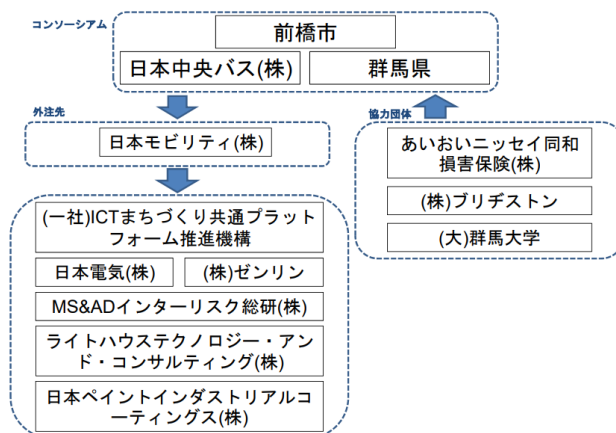
ターゲットラインペイント施工箇所（左：JR 前橋駅前通り 右：国道 50 号本町 2 丁目交差点内）

## ■実証実験概要

実施主体	群馬県前橋市
期間	2024 年 2 月 5 日（月）～2024 年 2 月 29 日（木） ※水・日曜日は終日手動運転
実証実験の場所	上毛電鉄中央前橋駅～J R 前橋駅間（片道約 1 キロ）
実証実験のレベル	自動運転レベル 2



走行ルート図



実証実験の体制図

## ■参考リリース

前橋市「自動運転バスの実証実験を実施します」

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/kotsuseisaku/oshirase/39457.html>

## ■本件に関する問い合わせ先

報道機関からのお問い合わせ先：

日本ペイントホールディングス株式会社 広報部 黒川、阿部

E-mail: [nphd-kouho@nipponpaint.jp](mailto:nphd-kouho@nipponpaint.jp) TEL: 050-3131-7416

報道機関以外からのお問い合わせ先：

日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社 営業本部新市場開発部

E-mail: [npiu-newbusiness@nipponpaint.jp](mailto:npiu-newbusiness@nipponpaint.jp)